

庁議の概要

開催日 平成27年4月1日（水）

◎項目

1 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

◎内容

（冒頭）知事から平成27年度が始まるにあたって以下の3点について話があった。

- ① 産業振興計画を現実のものとしていくためにも、部局間の連携・協調が、従前以上に大事になってくる。ぜひこのことを徹底してほしい。
- ② 悪い情報ほど、ぜひ積極的に上げてきていただくことを、引き続き徹底してほしい。そのおかげで、県政が結果として間違ったことをせずに済んだということもあったり、速やかに正すことができ、むしろ前よりもいい方向に持って行くことができたということがあった。
- ③ 従前に増して、官民協働、市町村との連携・協調ということが非常に重要になってきている。いろいろな経緯やそれぞれの言い分もあるだろうが、民間の皆様方としっかり交渉し、市町村のみなさんもしっかり折衝もして、結果として官民協働、市町村との連携・協調体制が作りあげていけたということになるように。
他方、市町村との連携・協調、官民の連携・協働が進めば進むほど、綱紀は粛正しないといけない。癒着などになってしまうと、官民協働も崩れてしまうということになってしまう。しっかりとけじめをつけていきながら、そのうえにおいて官民協働、市町村との連携・協調をしっかり図ってほしい。

1 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部局による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○ 近傍居住の強化について

（危機管理部）

本日から勤務時間外の災害対応の指揮を確実にを行うため、旭の待機宿舎へ管理職員等の近傍居住を開始する。南海トラフ地震の発生時においても30分以内に確実に登庁できる体制を目指している。常に3人が待機している状態をつくっている。また、総務部、健康政策部、土木部と各部局も幹部職員等で数名での24時間体制が構築できる形になっている。

土木部、健康政策部においては、体制の構築は当然のこと、運用をしっかりお願いしたい。

○ 事業継承・人材確保の取り組みについて

(商工労働部)

事業継承・人材確保センターについて、本格オープンは7月になるが、今日、サンライズホテル西側の畑山ビル5Fに開設した。

本格オープンへ向けて、これから職員の研修やセンターの広報、セミナーの準備などを進めていくことにしている。

ここは人材確保の中核という位置付けとなっている。高知県でこれからいろいろやってみたいという県外も含めた人材と、県内の事業者の欲しい人材のマッチングの場としていきたい。

(知事)

移住促進の人財の確保の取り組みとも密に連携するように、願います。移住と一緒にやるということが肝なので。

○ JRディステーションキャンペーンについて

(観光振興部)

JRディステーションキャンペーンは、JRグループ6社が一定期間、一定の地域を対象に協力してそこへ誘客・客送をするというキャンペーンで、併せて、地元自治体、旅行会社などが連携してキャンペーンを行うものだが、平成29年4月から6月に四国で実施することが決定した。

今のところ、高知城歴史博物館が完成するタイミングになっているので、それをディステーションキャンペーンでPRしていくよう、文化生活部と協力をして取り組んでいきたいと考えている。